



坂下しげき県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

乗降客多い市川市内の各駅

ホームドア急ぎ設置を

市川市民と県政をつなぐパイプ役として、住み良
いふるさとづくりに力を注いでいる坂下茂樹県議
(2期)は県議会予算委員会で県政の課題や施政方
針について質問し、県の施策に対して様々な要望を
行っています。2月定例県議会では乗降客が多いJ

R市川駅など市川市内の各駅にホームドアを設置す
ることについて質問、6月県議会では千葉県医療
と介護の現状について尋ね、要望を行いました。両
県議会予算委員会で坂下茂樹の質疑と県担当者の
答弁を合わせて紹介します。



予算委員会で質問する坂下茂樹県議(6月定例県議会)

2月・6月定例県議会予算委員会

坂下議員 市川市にはJ
R市川駅、本八幡駅など利
用者が10万人を超える駅が
あり、その他にも市民が多く
利用する駅がある。市民の
安全を守るため、早急にホ
ームドアを設置する必要が
あると思う。

の開発状況等を踏まえて、
設置を検討していくことに

なると思います。
その検討の結果、具体的

お願います。平成29年度中

要望 坂下議員 多くの
鉄道利用者の命や安
全を守る事業ですので、鉄
道事業者と粘り強い交渉を

な内容が決まり次第、鉄道
事業者から国や市川市、県
に対して設置費用への支援
の要請があり、各団体に補
助金予算を確保していくこ
ととなります。
補助率は、基本的に事業
費のうち、国が3分の1、市
及び県で3分の1を補助す
ることとなります。なお、県
の補助は、市が補助する場
合に、市に対して補助を行
う制度となっております。
したがって、まずは、
鉄道事業者において、車両の
更新や設置内容の検討を早
急に進めていただく必要が
ございます。県としては、そ
の点を鉄道事業者に対し強
く要望してまいりたいと考
えております。

には第一歩を踏み出して
いただきたい。

市川市の国道14号 無電柱化推進必要

坂下議員 国道14号の市
川市域において、無電柱化を
進めるべきと思うがどうか。
道路環境課長 国道14
号の市川市域については、新
田地区の900メートル区
間において、電線共同溝の整
備による無電柱化が完了し
ているところです。

要望 坂下議員 安全で
快適な道路環境は、
住環境の良し悪しに大きく
影響する部分であり、「千葉
県に住み続けたい」と思え
る重要な要素である。道路
整備をする際には、その区
間に関して同時に無電柱化
の是非を検討に加えるな
ど、より良好な道路・歩道の
環境づくりを行っていただ
きたい。

●県政や地元市川市のご相談、ご要望をお寄せください

坂下しげき県議事務所

〒272-0022
市川市鬼越2-5-8 旧金子和夫事務所
TEL.047-318-0055
FAX.047-318-0500

そこで、市川市内の駅にホ
ームドアを設置するに当た
り、今後、市川市及び事業者
と、どのようなスケジュール
で、どのような調整をしてい
くのかをうかがう。
交通計画課長 駅のホ
ームドアについては、今後、鉄
道事業者において、特に既存
のタイプのホームドアが設
置できない場合については、
新しいタイプのホームドア

坂下県議の思い

私は、県議会議員として2期6年にわたり、議会において一貫して千葉県の行財政改革について質問をさせていただいています。

なぜならば、千葉県の行財政は国民、県民の税負担、すなわち県民の汗によって成り立っており、予算である税金は、県民のために、無駄なく有効に使われなくてはならないからです。

千葉県行政は、県民の税金によって運営され、県民のために運営されるものであるということを常に心がけて執行していただきたいと思ひます。

また、財源の確保は、県民が望む行政サービスの充実に直結します。

財源の確保に向けて、より一層努めなければなりません。

そして、財源の確保について、今一番課題となっているのは、国と地方の税源配分の見直しであると思ひます。このことも県から国にしっかり声を上げていかなければならないと思ひます。

財源確保へ国に声を上げよう

坂下しげき PROFILE

経歴

- 昭和49年11月 市川市生まれ
- 昭和62年3月 市立曾谷小学校卒
- 平成2年3月 市立第一中学校卒
- 平成5年3月 船橋法典高校卒
- 平成9年3月 日本文化大学卒
- 金子和夫県議秘書
- 平成15年4月 市川市議会議員
初当選(2期連続当選)
- 平成23年4月 県議会議員初当選

現職

- 県議会 農林水産常任委員会委員



県の施策について審議した予算委員会 (6月県議会)

羽田への航空機騒音 市民がから苦情相次ぐ

坂下議員 羽田空港へ着陸機は、空港周辺の視界が悪い場合、つまり悪天候時には、市川市の北西部上空を5千フィート程度の高度から降下しながら通過している。

この市川市上空で発生する騒音が市民生活に影響を与えているため、市川市では、千葉県・連絡協議会を通じて、抜本的な改善策の検討などについて、意見を提出し、

空港地域振興課長 市川市民から寄せられた騒音の苦情は、平成25年度が128件、26年度が169件、27年度が67件となっているところだ。

坂下議員 市川市での市民相談会の開催についてはどうか。

空港地域振興課長 今回、国の主催の市民相談会は、広域的な開催であり、会場市以外の自治体にお住まいの方も参加できるように、広く周知に努めたところです。

坂下議員 医療・介護に関する現状についていかがう。人口10万人当たりについて、病院数、一般病床数、療養病床数、医師数、看護師数はどのくらいで、全国何位なのか。

千葉県の医療の現状 いずれも全国下位に低迷

坂下議員 いずれも全国で下から数えた方が早いという現状だった。次に、65歳以上の高齢者人口10万人当たりの特別養護老人ホーム及び介護老人保健施設の定員数、介護職員数はそれぞれ

保健医療担当部長 平成27年10月1日現在、人口10万人当たりの病院数は4.6病院で、全国順位は44位。一般病床数は566.5病床で44位、療養病床数は168.5病床で43位です。また、平成26年12月31日現在、人口10万人当たりの医師数は182.9人で45位、看護職員数は849.4人で45位となっています。



県政の現状や今後の方針を聞く坂下茂樹県議 (2月定例県議会予算委員会)

坂下議員 医療の現状同様、介護サービスに関する現状についても決して良い

坂下議員 契約についてうかがう。建設工事の入札不調が多いが、入札不調後、次の入札に向けたスケジュールや事務手続はどのようなものか。

坂下議員 契約については、指名通知など約20日、一般競争入札では公告、入札参加資格の審査など約60日を要します。なお、設計条件等の見直しを行う場合は、さらに日数を要することとなります。

坂下議員 公告期間や入札額見積期間が、適正な日数を確保する必要はあるが、事務手続、審査日数が少々長すぎると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について全国と比較すると、決して満足できる状況ではない。人口が全国6番目に多いなど、難しい課題等があるが、納税者の意識としては、全国の方と同じ税負担をしているのに、全国に比べ給付されるサービス値が低いというのは複雑な心境であると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について検討していきます。

坂下議員 医療の現状同様、介護サービスに関する現状についても決して良い

坂下議員 契約については、指名通知など約20日、一般競争入札では公告、入札参加資格の審査など約60日を要します。なお、設計条件等の見直しを行う場合は、さらに日数を要することとなります。

坂下議員 公告期間や入札額見積期間が、適正な日数を確保する必要はあるが、事務手続、審査日数が少々長すぎると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について全国と比較すると、決して満足できる状況ではない。人口が全国6番目に多いなど、難しい課題等があるが、納税者の意識としては、全国の方と同じ税負担をしているのに、全国に比べ給付されるサービス値が低いというのは複雑な心境であると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について検討していきます。

坂下議員 医療の現状同様、介護サービスに関する現状についても決して良い

坂下議員 契約については、指名通知など約20日、一般競争入札では公告、入札参加資格の審査など約60日を要します。なお、設計条件等の見直しを行う場合は、さらに日数を要することとなります。

坂下議員 公告期間や入札額見積期間が、適正な日数を確保する必要はあるが、事務手続、審査日数が少々長すぎると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について全国と比較すると、決して満足できる状況ではない。人口が全国6番目に多いなど、難しい課題等があるが、納税者の意識としては、全国の方と同じ税負担をしているのに、全国に比べ給付されるサービス値が低いというのは複雑な心境であると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について検討していきます。

坂下議員 医療の現状同様、介護サービスに関する現状についても決して良い

坂下議員 契約については、指名通知など約20日、一般競争入札では公告、入札参加資格の審査など約60日を要します。なお、設計条件等の見直しを行う場合は、さらに日数を要することとなります。

坂下議員 公告期間や入札額見積期間が、適正な日数を確保する必要はあるが、事務手続、審査日数が少々長すぎると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について全国と比較すると、決して満足できる状況ではない。人口が全国6番目に多いなど、難しい課題等があるが、納税者の意識としては、全国の方と同じ税負担をしているのに、全国に比べ給付されるサービス値が低いというのは複雑な心境であると思う。

坂下議員 千葉県は、医療・介護について検討していきます。



ガマが茂る国分川調整池

国分川調節池のガマ穂綿 飛散防止対策を試行

坂下議員 国分川調節池に大量に自生しているガマの穂綿の飛散防止対策について、定例会及び予算委員会で質問させていただいた。これに対し、ガマの異常繁茂を抑制するため、大学教授と研究するなどの検討に着手するという答弁をいただいている。そこで、現在の国分川調節池に繁茂するガマの生育状況と穂綿の飛散防止の対応状況についてうかがう。

河川環境課長 国分川調節池に自生するガマの穂綿の飛散を防ぐため、効果的な刈取り時期や、生育抑制に資する刈取り手法等の検討を行い、昨年10月に茎の上部のみを刈取ったところ、周辺への飛散はありませんでした。

今後ともガマの生育状況を注視し、適切な維持管理に努めてまいります。

県民1人当たり民生費、社会福祉費 27年度実績 全国最低レベル

坂下議員 民生費、社会福祉費の全国順位は下から2、3番目という低い状況にある。なぜ他県に比べ社会保障費に充てられる予算が少ないのか。

総務部長 各都道府県の決算状況を見ると、人口規模が大きい団体については、民生費や社会福祉費に限らず、1人当たりの歳出規模は小さくなる傾向があります。これは、人口が多いこ

坂下議員 本県ほどのような予算配分をしているのかをうかがう。県民1人当たりの民生費、社会福祉費はいくらで、全国順位はどうか。

総務部長 本県の県民1人当たりの民生費は、平成27年度決算ベースで4万2843円であり、全国では46位となっています。また、民生費のうち、社会福祉費については、同じく1万5309円で、全国では45位となっています。

坂下議員 医療・介護に於ける人口当たりの水準が低い状況があるということとは、やはり県民感情からすると、納税に見合った公平な受益が得られていないと感じるところであると思ふ。

「県のお金がどんな行政目的のために、どれくらい使われているのか」ということを把握できるものに「歳出の目的別の構成があるが、本県の歳出の目的別の状況に於ける特徴をうかがう。」

総務部長 県の歳出を目的別に、割合が大きい順に申し上げますと、教育費が34.2%、民生費が19.8%、商工費が11.9%、警察費が10.4%などとなっています。

坂下議員 医療・介護に於ける人口当たりの水準が低い状況があるということとは、やはり県民感情からすると、納税に見合った公平な受益が得られていないと感じるところであると思ふ。

「県のお金がどんな行政目的のために、どれくらい使われているのか」ということを把握できるものに「歳出の目的別の構成があるが、本県の歳出の目的別の状況に於ける特徴をうかがう。」

総務部長 県の歳出を目的別に、割合が大きい順に申し上げますと、教育費が34.2%、民生費が19.8%、商工費が11.9%、警察費が10.4%などとなっています。

県民1人当たりの一般財源額 47都道府県中45位

平成27年度

坂下議員 医療や介護など県民に行政サービスを提供するためには、財源が無ければできない。全国と比較して医療・介護が低い順位になっている本県の税収入、財源は多いのか少ないのか、全国と比較しながらうかがう。

まず、一般財源についてだが、一般財源は使い途に指定がなく、県が自由に使える財源で県税や地方交付税などを言う。この財源を使つて、医療・介護など千葉県に合った政策を進めることができる。

そこでうかがうが、人口

1人当たりの一般財源額は、全国順位はどうか。

総務部長 本県の人口1人当たりの一般財源額は、平成27年度決算ベースで約17万8千円であり、総務省が集計・公表している地方財政状況調査によると、全国では45位となっています。

県税は25位

坂下議員 人口1人当たりの一般財源額は全国と比較した場合、下から3番目だった。自主財源の要である県税額について人口1人当たり過去3年間の額は、いくらで全国順位はどうか。

総務部長 総務省が集計・公表している「道府県税徴収実績調査」によりますと、本県の人口1人当たりの県税の額及び全国順位は、

納税に見合った受益 「ない」が県民感情

とによる規模のメリットが働くことや、政令市や中核市に移譲されている事務が多いことなどが理由と考えられます。

一方で、平成27年度決算

において、歳出総額に占める民生費の割合は19.8%と、全国で16位に位置しており、1人当たりの歳出規模だけで、予算を評価することは、難しいという認識です。

坂下議員 その県によって、県民ニーズも政策目標も政策課題も異なることから、単純に全国と比較して良い悪いは言えないと思ふ。しかし、現在の千葉県がどのような行政目的に対して



県担当者からの答弁を聞く坂下茂樹県議 (6月県議会)

など、一般財源の総額確保について、全国知事会や九都県市首脳会議などと連携して働きかけを行っているほか、本県の実情により必要となる財源等については、「国の施策に対する重点提案・要望」などにより、国に強く要望しているところとす。

予算を使っているのか、全国と比べてどうなのかというところが分かったと思う。

県民が「豊かさ」を感じるためには、全国順位を上げることも必要であると思ふ。限られた財源の中で、どのように県民ニーズを取り込み、何を実現していくのか。そのために何をすべきなのかしっかりと考えていかなければならない。

総務部長 地方財政については、人口や産業の集積の度合いによる地域間格差等にかかわらず、地方公共団体が責任を果たせるよう、国全体として地方財政計画を通じて、地方交付税や地方債などによる財源保障がされているものと理解しています。

県としては、地方交付税など、一般財源の総額確保について、全国知事会や九都県市首脳会議などと連携して働きかけを行っているほか、本県の実情により必要となる財源等については、「国の施策に対する重点提案・要望」などにより、国に強く要望しているところとす。

平成25年度は約11万円で15位、平成26年度は約11万6千円で17位、平成27年度は、約12万7千円で25位となっています。

再質問 坂下議員 平成27年度の県税の全国順位が大幅に下がっているが、その原因はなにか。

総務部長 様々な要因が複合的に作用していると思われ、一概には言えませんが、要因の一つとしては、平成27年度税制改正における統計指標の置き換

えなど、地方消費税に係る清算基準の見直しによる影響が考えられます。

国税収入額と還元額かい離

坂下議員 県税は、ここ3力年で全国で15位から25位ということから中間からそれ以上の順位であるのに対し、一般財源全体では45位になるといふのは、やはり税源配分の問題があると思ふ。国税収入額と国からの還元額のかい離についてどのように考えているのか。

被災農家への補助金

速やかな交付が必要

坂下議員 災害時に被災された農家については、申請により、補助金等が交付される場合がある。しかし、申請から交付まで半年かかる場合があるなど、手続きに非常に時間がかかるという弊害があり、スムーズな再建ができない状況にある。そこで、被災農家の一刻も早い再建のため、補助金の速やかな交付が必要と考えるがどうか。

農林水産部長 被災農業者向け経営体育成支援事業については、ハウスのビニール

の破損なども補助対象となつたため、当初の想定を大きく上回る29市町村約1600経営体から要望があり、現在は、個々の事業計画書の確認事務などを最優先で行っているところです。

当事業は、特例的に既に

取り組んだ復旧工事も波及して補助対象としているところであり、今後とも、被災農家の一刻も早い再建に向けて、国や市町村と連携し、補助金の速やかな支払いに努めてまいります。

坂下議員 現在抱えている案件について

では、迅速な対応をお願いしたい。

国の支援制度を適用する場合、手続きに多くの時間がかかるため、国に見直しを求める必要があるが、県民を守ることができれば千葉県である。例えば国の支援に先立ち、迅速に支援

成田羽田空港間にリニアモーターカー

国に検討開始を要望

坂下議員 成田空港の利便性を高めるために、羽田空港と結ぶリニアモーターカーを促進すべきと考えるがどうか。

総合企画部長 成田、羽田空港間のアクセス向上につきましても、国に対して都心直結線の早期実現を要望しているところです。

また、長期的には、両空港間に同一空港並みの利便

できるよう、千葉県独自の取り組みを研究してほしい。今後、大規模地震等の発生が懸念される中で、農業だけでなく、千葉県独自の取り組みを、早急に確立する必要がある。検討してほしい。

旅券発給事務手数料 国、県への配分不公平

坂下議員 私が市議会、県議会を通じて、質疑、質問をしてきた旅券事務の市町村への権限委譲については、今年度から開始され、市川市を始め県内の幾つかの市町村で旅券事務の窓口が開設され、パスポートの申請・受け取りができるようになり、市民の利便性が向上した。

旅券事務のもう一つの課題が、旅券手数料における国と都道府県の分納額の差が大きいという点だ。

例えば、10年の旅券では、県民が納める手数料の額は、合計1万6千円と高額。しかし、このうち、1万4千円は国のものであり、残りのわ

ずか2千円が県になる。ほとんどの旅券発給事務を担っているのは県だが、手数料収入が2千円ということから、これを超える事務経費が県の持ち出しとなっている。

今年度、国で行われた「秋のレビュー」では、旅券手数料が高額で、コストの積算根拠が不明確であるといった指摘がされた。そこで、これを機会に国と県の配分についても見直しを求めていくべきと思うがどうか。

国際課長 国において行われた秋のレビューでは、国の旅券事務の手数料コストの削減について指摘がなされ

県の持ち出し270円 1件あたり

再質問

坂下議員 現在の県及び市の旅券発給に係る事務コストについて、超過負担となっている額は、旅券1件あたりどのくらいか。

国際課長 県につきまして、サービスの向上などで、手数料収入で賄っている基本的な旅券事務以上の上乗

せ部分につきましては、県が独自に負担をしている状況にあります。

そうした負担も含めて、平成27年度決算ベースでは、1件あたりに換算すると約2270円支出しており、約270円が超過負担となっています。

給に関しては、市町村窓口での申請と受け取りが可能となり、利便性が向上した。しかし、事務コストが受益者負担を大きく超えないように抑える必要がある。今後、国に対して適正な手数料の額や分納割合について見直しを求めるよう要望する。

要望 坂下議員 旅券

要望 坂下議員 地元の意見も充分踏まえて、有効活用を図っていただきたい。



市川市内でパスポートの申請、受け取りができるようになった (市川市パスポートセンター)

春木川 河川改修現場に千葉県管理地

坂下議員 一級河川春木川の河川改修事業が進められている。現地を確認すると、春木川沿いの用地で何件か「千葉県管理地」として管理されている土地があり、現時点では施設の設置などは行われていない。

この春木川沿いにある用地の使用用途等について地元からも問い合わせがある。この春木川の用地はどのようなものなのか。

河川整備課長 春木川については、国分川合流点から約2.2キロメートルについて、河道の拡幅整備を進めており、ご質問の用地に

については、事業に伴い取得したものです。

この用地については、河川と一体的な利活用が見込める土地として、管理を行うつもりです。

坂下議員 今後の活用の見直しはどうか。

河川整備課長 今後、河川の改修に併せて、流域内の防災機能向上のため、水防資機材の設置などに、有効活用を図っていくつもりです。

性を実現させるため、国に對しまして、リニアモーターカーについても、国策として検討を開始するよう要望しているところでございます。

海岸に砂浜を造成 市川市民から要望

坂下議員 市川市や市民から要望が上がっている塩浜地区の環境整備についてうかがう。

市川市塩浜地区で海に親しむことができる砂浜を造れないかと考えるがどうか。

環境生活部長 県では、三番瀬再生基本計画に基づき、環境の多様化と親水性の確保の観点から、市川市塩浜2丁目の護岸前面において、砂を入れた「干潟的環境」の形成について検討してまいりました。

その結果として、人が海と触れ合える親水性については一定の効果が認められるが、三番瀬全体の自然環境再生への効果が限定的であることが明らかになり、県事業として実施することは困難という結論に達しました。

なお、市川市から具体的な提案等が示されれば、それに応じて協議を行います。